

# 第7波（想定陽性者1万人/日）に向けた保健所体制について

## 第6波の主要な課題

想定(1,700人/日)を大きく上回る感染の急拡大により

- ・ コールセンターの受電率低下
- ・ ハーシス入力（発生届の処理）の遅れ
- ・ ファーストタッチの遅れ

## 第7波(想定1万人/日)に向けた方向性

- ・ これまでの枠を超えた「外注範囲」の見直し
- ・ 本市施設の新たな活用による「執務スペース」の大幅拡充
- ・ 「ICTツール」による業務の迅速化・省力化  
→ 保健所業務効率化PTによる検討  
(インターネットFAX、感染者情報管理システムの導入)

	1,700人/日想定 の体制計画	第6波最大の体制	第7波（想定1万人/日）に向けた体制（最大）	
コールセンター	60人 (派遣看護師)	70人 (SMS導入に伴う情報発信効果により、 現在は受電率改善傾向)	約320人 (陽性者1万人を想定した 受電数に対応できるよう算定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「一般相談（250席）」を委託化（事務職） ⇒ 場所は、業者で確保</li> <li>・ 「専門相談（70席）」は看護師派遣を継続 ⇒ 場所は、保健所で確保</li> </ul>
ハーシス入力	50人 (市事務職員)	150人 (職員及び一部委託化により 5,000人まで対応)	約300人 (第6波最大体制の約2倍の体制 により1万人に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員対応を外注に切り替えて増員 ⇒ 場所は、新事務所（中央卸売市場業務管理棟）を活用</li> </ul>
ファーストタッチ	230人 (派遣看護師・ 市事務職員・ 派遣事務職員)	230人 (SMSの活用、 ファーストタッチの重点化により 5,000人まで対応)	300~400人 (増員とともに、ファーストタッチの さらなる重点化・効率化により 1万人に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ファーストタッチ」は派遣看護師を増強</li> <li>・ 「SMS送信」、「調査結果入力」は、 市職員対応分を派遣事務職員に切り替えて増強 ⇒ 場所は、船場センタービルに加え、 新事務所（中央卸売市場業務管理棟）を活用</li> </ul>

## 《保健所体制整備スケジュール》

4月

### 【コールセンター】

- ・ 業者決定（4月上旬）
- ・ 委託業者でのオペレーター養成（約1か月）

### 【ハース入力・ファーストタッチ】

- ・ 業者決定（4月中～下旬頃）
- ・ LAN環境整備（約1か月）
- ・ PCや机など什器類調達（約1か月）

### ＜4月中の感染拡大への対応＞

コールセンター：「一般相談センター」を25回線準備が整い次第先行開始

ハース入力・ファーストタッチ：現在の民間派遣や職員を増員して対応

5月

本格稼働  
(5月初旬頃)